声をかけてください②

市民ボランティアグループ「ユニーズ京都」

目の見えない人がちょっと困っておられたら「お手伝いしましょうか?」と思い切って声をかけて みてください。

「ありがとう、お願いします」と喜んでいただける方がおられます。

お手伝いして一緒に歩くときは、貴方の片方の腕を貸してください。見えない人は、その腕を後ろから持って歩きます。



これは、線ブロックの上を歩いているところです。 黄色い真っ直ぐ延びたブロックは目的の場所へ誘 導するものです。

この上に人がいたり、自転車などが置かれていると方向を失ってしまいます。

これは、横断歩道で信号待ちしているところです。 足元には点プロックがあります。

この点ブロックは、「ここから危険だよ」という警告ブロックです。 横断歩道や駅のホームなど、点ブロックの上に見えない人が立っ ておられたら、「青になりましたよ」と信号の変わったことを言葉 で伝えたり、白杖を持っておられる人がホームの中で移動されて いるのを見かけたら、必要に応じて手助けをお願いします。



音響信号機って知っていますか?

街中で「ピヨピヨ・カッコーカッコー」と信号が変わるたびに聞こえています。

京都市内では、東西が青信号のとき「カッコー」、南北が青のとき「ピヨピヨ」と聞こえます。 バスや電車、もし空席があったら「ここが空いていますけど座られますか?」と声をかけてみてく ださい。

バス停でも「何号系統に乗られますか?」と声をかけてください。

●どんな場合でも、「声かけ」をしてもらえることは、視覚障がい者には情報を得るための大きな力 となります。

貴方も思い切って声を出してみてください!